

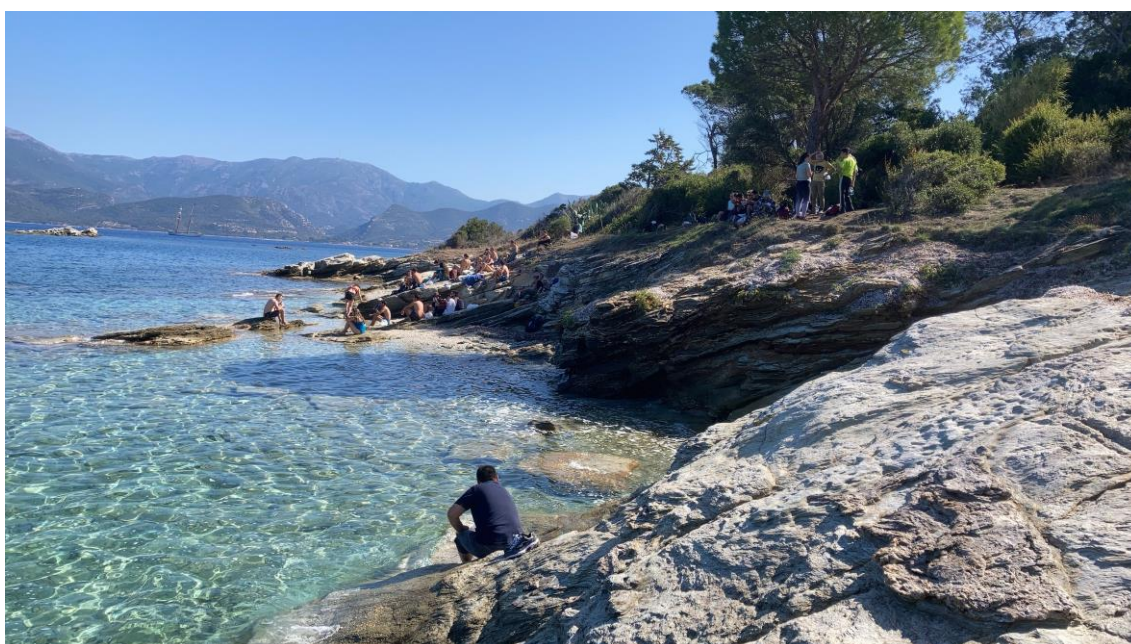
なんで、私がコルシカに！？

京都大学 大学院理学研究科 西沢 貴志

「この分野の最高峰を見ておいで」そう言って本支援を紹介してくれたのは防災研の西川友章先生でした。詳しく話を伺うと博士の時にこのサマースクールに参加したらしく、国際的に活躍する研究者を見て大変感心したとのこと。そこまで言うならと人生初めての海外遠征に踏み切ったのが事の始まりでした。

コルシカの気候は地中海性であり、10月とはいえ体感30度ほどありました。幸い天候に恵まれ、沈み込みによって形成された岩石の露頭や剪断帯(写真)を2日間かけて巡検することができました。特にデュープレックス構造が地表に隆起するメカニズムは私の研究テーマ(島弧の地形形成)とも接する点があり、面白い内容でした。続くサマースクールでは、沈み込み帯をテーマに100人近い研究者がプレゼンを行いました。2日目には私も口頭発表を行い、拙い英語ではあったものの海外のPh.D.や大先生と議論を交わすことが出来ました。また、高知コア研の奥田さんを始め、海外で活躍する日本人の研究に対する姿勢や情熱は本当に印象的であり、西川先生の言葉が身に染みて理解できました。この体験は一生忘れないと思います。

最後に、サマースクールへの旅費をご支援いただき誠にありがとうございました。普段関わることのない、実験やフィールドの研究者が沈み込み帯の地形形成をどのように考えているか知れたことは大きな収穫でした。今回の遠征を生かしてこれからも研究に励みたいと思います。



「Lancône valley で見える付加堆積物」